

多賀公民館だより

〒799-1354

西条市北条654-1

TEL・FAX (0898) 64-2083

E-mail : taga-k@saijo-city.jp

※多賀公民館 H/P、QR コードはこちら ➡



令和7年4月

多賀地区人口	2月末現在	前月比
男女計	2,708 (- 2人)	
男女計	2,645 (± 0人)	
男女計	5,353 (- 2人)	
世帯数	2,809 (+ 4戸)	

公民館 ニュース

【多賀を守り育てる防災学習講座開催される】

3月10日多賀小学校体育館において、多賀を守り育てる会の防災部会が主催し、西条市経営戦略部危機管理課地域防災アドバイザーを招いて、防災学習講座を開催しました。

講座当日は当初予想された参加者数より多い、108名（学生含む）の参加者となり、防災に対する意識が広がりつつある事が伺えました。講座では近年の自然災害（地震・水害）状況の説明や、過去の昭和南海地震での旧西条市や壬生川地域の被害状況説明などもあり、地域防災力向上を再確認する内容となっていました。また災害から命を守る防災意識として、「自分の命は自分で守る」・「地域の安全は地域で守る」、住民は行政から助けをもらう立場という認識では、大災害に立ち向えないとお話しいや、今後予測される南海トラフ地震の発生確率は30年以内で「80%程度」と言われており、備蓄や避難場所の確認、家具の固定などの対策や、災害発生時に適切な行動をとるための知識やスキルを身につけ、命を守る力を育てましょう！など、現在の防災意識の有り方をご説明頂きました。

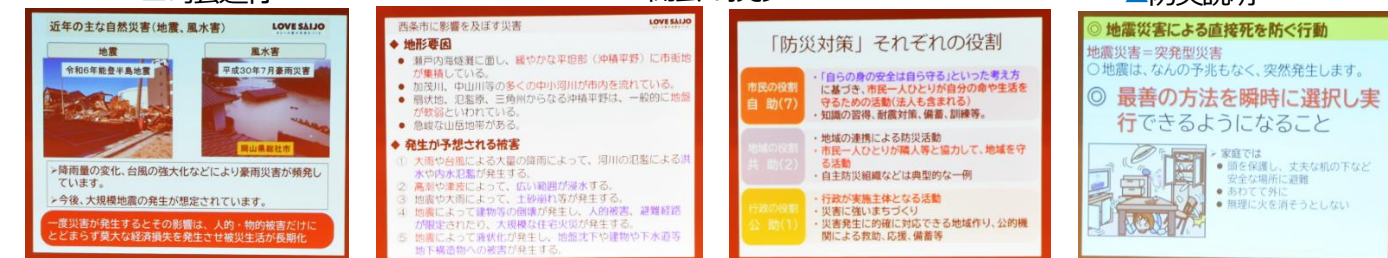
次回防災学習講座予定は7月に予定されていますが、少しでも多くの方に参加頂き防災力向上に努め、いざという時のために皆さんも災害に備えましょう！。



▲司会進行

▲開会の挨拶

▲防災説明



▲質疑応答

▲閉会の挨拶

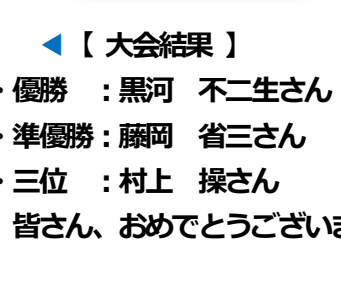
公民館 ニュース

【第33回多賀地区グラウンドゴルフ大会実施】

3月7日、北条新田公園にて第33回多賀地区グラウンドゴルフ大会が実施されました。参加される皆さんの日頃のおこないが良かったのか、前々日まで雨だった天候も当日は快晴でグラウンドコンディションもバッチリ！、寒さは少し有りましたが、皆さん日頃の練習成果を発揮され、様々な歓声が飛び交う中プレーを楽しまれました。



▲準備体操



▲【大会結果】

- ・優勝 : 黒河 不二生さん
 - ・準優勝 : 藤岡 省三さん
 - ・三位 : 村上 操さん
- 皆さん、おめでとうございます。

・実施にあたり早朝より準備にご協力頂き、無事大会を終了する事が出来ました。有難うございました。

【子供ら大好きなクッキー作りに挑戦！😊】

2月8日、食の創造館において多賀子供教室を開催、51名もの子供達が参加、クッキーづくりに挑戦しました。一人一人生地（材料：MIX、砂糖、食用油、卵をコネた生地）をめん棒を使い、生地を適度な厚さまで伸ばしていきます。中々思った様にはいかず苦労していましたが、段々と厚さも均一になってきて、型抜きが出来る状態になりました。星型、ハート型、丸型の型抜きを使い、思い思いに好きな型で型抜きをし、鉄板のクッキングシート上に丁寧に並べていきました。後は焼くだけ、オーブンで約10分ちょっとくらい焼きます。焼き上がりを待つ間、喜左衛門狸の紙芝居を観たり、焼きあがっていくクッキーの様子を観て楽しみました。クッキーが焼きあがって冷ました後、皆さん持ち帰りましたが、味はどうだったのかな～、、、。焼き上がりを見た感じでは最高に美味しかった事でしょう。😊



▲クッキー生地



▲めん棒で生地を伸ばす



▲慎重に型抜き中



※多賀のきざえもん狸 ➡ を探せ！ ➡ 公民館だよりの表・裏の中で分身したきざえもん狸が全部で5匹隠れているよ！ 修行して色を擬態させているので難しいよ！ 皆で競争して探してみてね。😊

【 こども教室クッキー作り続き… 】



▲ 型抜き

▲ 鉄板に並べ、焼き上がりを待つ

▲ 美味しそう…

▲ きざえもん紙芝居

地 域 ニ ュ ー ス

【 公民館の花壇にはいつもきれいな花が咲いています 】



公民館の花壇はいつも花がきれいに咲き、皆さんの癒しになっています。いつも花の手入れをして頂いている、千歳会の皆さんありがとうございます。

* お 知 ら せ !

【 西 条 市 軽 ス ポ ー ツ 大 会 お 知 ら せ 】

西条市スポーツ推進委員協議会では、気軽にスポーツに取り組むとともにスポーツの楽しさを知っていただくため、軽スポーツ大会を開催します。

- **日 時** 5月11日(日) 9時～12時
(受付：8時30分～)
- **場 所** 東予体育館アリーナ
- **大会種目** モルック
- **体験種目** ディスコン、ディスクッター、
- **対 象 者** 小学生以上
1チーム3～4名で競技をしていただきます。
- **定 員** 12チーム(先着)
- **申込方法** 4月25日(金)までに、申込用紙を申込先に提出。
(スポーツ健康課へ申し込む場合は、FAX可)
※FAXにてお申し込みの場合は、必ずスポーツ健康課まで受付の確認をしてください。
※大会当日のお申し込みはできません。
- **注意事項** 当日は運動のできる服装でお越しください。水筒・室内シューズ等をご持参ください。
- **申 込 先** ○スポーツ健康課(市庁舎本館1階)
TEL 0897-52-1255
FAX 0897-52-1295
○西部支所市民福祉こども係
○丹原・小松サビセンター
○各公民館
- **問合せ先** お近くのスポーツ推進委員またはスポーツ健康課
(0897-52-1255) まで

【 コミュニケーションボード設置について 】

西条市地域福祉課より災害時及び緊急時等に、視覚・言語・知的など何らかの障がいがあり、視覚的配慮が必要な方、言葉が話せるイラスト等を併用したほうが理解しやすい方とイラストを視差したり、筆記しながら意思疎通を図るため、または災害時のほか、窓口等日常的に使用する事でコミュニケーション方法が幅広く活用できる様にするため、コミュニケーションボードを公民館に設置しています。

公民館ご利用で館内にて使用を希望される方は、事務所までお尋ねください。持ち出しは出来ません。

※下記はコミュニケーションボードの例です。



千 歳 会 へ の 寄 付

故 山内 府 様のご遺族、山内 清司 様より寄付金をいただきました。
厚く御礼申し上げますとともに、故人のご冥福をお祈り申し上げます。

【 移動図書館「カワセミ号」巡回のお知らせ 】

- **日 時** : 4月12日・26日(土) ※ 12:50～13:20
- **場 所** : 多賀小学校駐車場



～ 毎 月 10 日 は 人 権 を 考 え る 日 ～

「令和5年度 人権意識を高めるための作品集」から人権作文を掲載します。

差別とたたかうということ

丹原西中学校 3年 野口 倖愛 (令和5年時)

日本には、たくさんの人権問題があります。そして、今もなお差別により苦しんでいる人がいます。差別がなくならないのは、正しい知識を身に付け、正確に理解している人が少ないからだとは思いますが。日本には、約16の人権課題があり、それらを解消するためには、正しい知識と理解を深めることが大切だとされています。

現在も解消されていない差別には、江戸時代から根強く残っているものがあります。それは、部落差別です。学校の授業で習うまで、このような差別が存在することを知りませんでした。中世では、自然に手を加えたり、死や出血などの非日常的なものに関わったりすると「ケガレ」を受けるとされてきました。そのため、河の近くで生活していた特定の人たちが、それを生業としてきました。皮革業や守番などの役人の下働き、芸能や庭師など、人々が生きていくためになくてはならない仕事をしていました。初めは尊敬されていた部分もありましたが、次第に畏怖に変わり、やがて差別が始まったとされています。さらに、当時の幕府の政策により、差別が苛烈さを増します。身分制度が敷かれ、武士、百姓、町人の三つの身分に分けられることになりました。しかし、そのどれにも属することがなかった人たちがいます。その人たちは、村の運営や祭りに参加することができず、住む場所や職業、着るものや仕事に使う道具まで制限されました。また、犯罪者を捕らえたり、刑罰を実行したりする職務に就かされ、周りから一方的に恨みを買うことになり、集落の中で孤立していき、見せしめのようにひどい扱いを受けたとされています。「みんなしているから、自分たちとは違うから」と、差別は広がり、今日まで根強く残っているのです。差別を解消するためには、このことに気付くことから始まります。

最近では、インターネットの中で差別事象が起こっているケースもあります。その一つが、個人が簡単にモノの売り買いが楽しめるフリマアプリのサイト上で、同和地区名などを記載した「部落地名総鑑」の複製版に当たる出版物が出品された件です。報道では、出品者に差別的意図や悪意等はないとありましたが、自分が気付かないうちに、差別に加担してしまった一例だと思います。また、動画投稿サイトに、被差別部落の個人宅などを撮影した動画がアップロードされています。署名活動により、二百本ほどが権利者によって削除されることになりましたが、似たような動画はまだ公開されたままです。部落差別について、正しい知識を持つことができていない人がこの動画を見たらどう思うでしょうか。事実と異なる認識を植え付けられ、間違った思い込みや偏見を持つてしまうのではないのでしょうか。それでは、悲劇を繰り返すだけになってしまいます。

差別は「アンコンシャスバイアス」という無意識の思い込みや偏見により、被害者の未来や可能性を潰すものです。そんなことは許されてはいけません。ただし、知らず知らずに差別に加担してしまうケースもあります。自分がそうならないか、思い込みや偏見に囚われないよう、自分が考えるのです。また、差別をしてはいけないと思っていても、「みんなしている」「みんな同じだから大丈夫」と弱い気持ちに流されることもあります。これは、バンドワゴン効果と言い、「みんながやっていることなら正しい」と思ってしまう心理的作用のことです。人間の心の性質を正しく理解していなければ、差別やいじめだけでなく、多くの問題を引き起こします。これらのことから、私たちは学校で人権・同和教育をしているのだと思いました。私たち人間はどうしても、思い込みによって間違えたり、周りに流されたりします。「正しい行動を取るためには、正しい知識を基に自分で見て考え、判断することが重要です」と授業の中で、先生が話していた言葉を思い出しました。自分は大丈夫だと思わずに、相手の気持ちをしっかり考えながら、自分で判断していかなければいけないことを、今後も忘れずに生活していきます。

西条市人権教育協議会 西条市人権懇話会

4月・資源ごみ回収のご連絡！ (当日8:00迄にお出し下さい)

- **びん・ペットボトル・スプレー缶**・・・2日(水)
※コンテナにビン・スプレー缶を入れるときは、コンテナの高さ以上に積み上げず、空いているコンテナに入れてください。
※スプレー缶は必ず穴をあけ、残ガス抜きしてください。
注：空き缶、陶器、乾電池は捨てないでください。
- **古紙**(ダンボール/新聞/雑誌 分別)・・・9日(水)
注：新聞・雑誌・雑紙を混ぜたまま出している方がおられます。
必ず分別をお願いします。
※収集日や分別内容の詳細は、市配布の家庭ごみ分別ガイドブック(R5年度～)をよくご確認ください。

※中央公民館自転車置場と本松寺は、
・第1水曜日が、古紙です。
・第2水曜日は、ペットボトルなどです。